

DJ-P101R/DJ-P111R/DJ-P112R

DJ-P11R/DJ-R100DL

(交互通話・連結)

(同時通話/仮設)

中継器 (レピーター) リモコン&トーンスルー機能対応交互通話

用途に合わせて選べる、アルインコの 交互通話中継器。

【屋外常設 DJ-P101Rの特徴】

●屋外常設可能な防水防塵のダイキャスト製ケース。●DC10V～14Vで動作するので、付属ACアダプターの他に12Vカーバッテリーでも使用できます。●マスト取り付けで60mmφまで、それ以上のものには市販のバインド材も使える取り付け金具と、電源ケーブル10mのACアダプターが付属します。

【屋内専用 DJ-P111Rの特徴】

●ハードカバー本程度のサイズで軽量、取り付けは家庭用壁掛け時計並みの手軽さ。卓上据え置き用のゴム足も付属します。●DC6Vで動作するので、AC100Vが無い場所ではバイク用6Vバッテリー等でも使用できます。●ACアダプターと電源延長ケーブル5m、壁掛け用の取り付けネジとゴム足が付属します。

【屋内専用 DJ-P112Rの特徴】

●サイズは140W×90H×44Dmm、アンテナ長136mm、軽さ約340gとコンパクト。取り付けは家庭用壁掛け時計同様、ネジ止めだけの手軽さです。卓上据え置き用のゴム足も付属します。●DC6Vで動作するので、AC100Vが無い場所ではバイク用6Vバッテリー等でも使用できます。●ACアダプター、延長ケーブル5m、壁掛け用の取り付けネジとゴム足が付属します。

【共通の仕様】

- 交互通話専用中継器で全27chに対応します。(同時通話や連結中継はできません)
- コンパウンダー機能は自動対応。子機がコンパウンダー使用中ならそのまま中継します。
- アンテナは1/4λ長と高性能で、効率の良い通信が行えます。

共通：技術基準適合証明(工事設計認証)取得
無線ユニットXE-MC25内蔵



DJ-P101R
オープン価格
JANコード:4969182360752



DJ-P111R
オープン価格
JANコード:4969182360745



DJ-P112R
オープン価格
JANコード:4969182360776

屋内設置専用・交互通話中継器。 複数連結で、よりワイドな通話エリアを実現!

すでに交互通話中継対応のトランシーバーをお持ちなら、DJ-P11Rを使って通話エリアを大きく広げることができます。

DJ-P11Rは屋内設置専用レピーターです。単体設置でもOKですが、市販のLANケーブルを利用して複数台を連結することができ、電波の届きにくい階層ごとや、広い敷地に点在する建屋ごとに設置すれば他の中継器グループに属する子機と通話をすることができるようになります。クリアで安定した通話を確保する送受信独立可動式アンテナ、AC100V用電源アダプター等のアクセサリを標準装備、免許・申請手続きは一切不要で購入してすぐに設置・運用ができます。

- グループ機能とスクランブルトークに対応しています。
- アンテナは送受信別に装備、1/4λ長で効率の良い通話が可能です。
- DC8～14Vで動作しますので、12Vカーバッテリーでも使用できます。
- レピーター用27chすべてをカバーしています。

※複数台を連結設置する場合、それぞれのレピーターにアクセスするチャンネルは異なる設定となります。DJ-R100DやDJ-P24など、メモリー機能搭載機を利用すればレピーターのカバーエリアを移動する際のチャンネル変更が容易です。

※連結用LANケーブルは市販のフル結線ツイストペア・ストレートタイプをご使用下さい。弊社の実験では800m長のケーブルでも動作しましたが、使用可能なケーブルの長さはケーブルの品質によって異なります。

※DJ-P11RはPCのLANシステムを利用して通信を行う中継器ではありません。



オープン価格
技術基準適合証明(工事設計認証)取得機種
JANコード:4969182360356



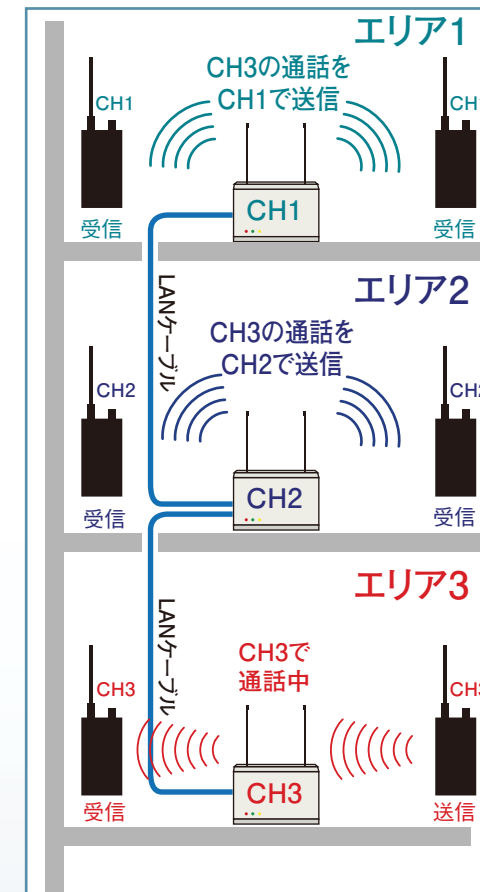
据え置き時は、アンテナを曲げて設置できます。

付属品

- 壁掛け用ビスセット
- ACアダプター
- ゴム足 4個

定 格

チャンネル数	特定小電力無線27ch	受信方式	ダブルスーパーヘテロダイナ
電波型式	F3E	受信感度	-14dBμ以下
定格電圧	DC8.0～14V	送信出力	10mW
消費電力	最大250mA以下	通信方法	半複信方式
外形寸法(W×H×D) 突起物除く	200×140×50mm	重量(電池含む)	約700g
接地方式	マイナス接地		



DJ-P11Rの連結中継動作

大型店舗など、広くて多くのユーザーが居る場所ではDJ-P11Rを使った交互・連結中継が最適です。各エリアの中継器は、通常それぞれ別のチャンネルで独立して動作していますが、待機中に別のエリアの中継器で通話が有れば、待機中のレピーターからも通話が送信されるのでより広いエリアでの通話が可能になります。

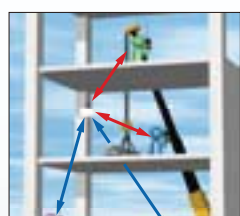
※別のエリアに移動したユーザーは、そのエリアをカバーする中継器のチャンネルに子機のチャンネルを合わせる必要があります。

DJ-P101R/DJ-P111R/DJ-P112Rに搭載の新しい機能について



リモートコントロール機能

中継器の設置位置がアクセスしにくい高所になりがちな工場・大型施設や繁華街・スキー場のように特小無線が多用されて混信が起こりがちな場所でも、リモートコントロール機能があれば中継器を取り外す手間をかけずに設定を変更することができます。混信の少ないチャンネルに変える、違うグループコードにするなどの管理が手軽になりました。



トーンスルー機能

大規模工事で複数のJVが共同作業をするとか、スタジアムなどで管理スタッフとガイドスタッフが異なった内容の通話をするようなシーンで、他のグループの不要な通話を聞かずに中継器1台で通話ができます。(他のグループが使っている時は通話できません。)

中継器の使用でこんなに広がる通話範囲

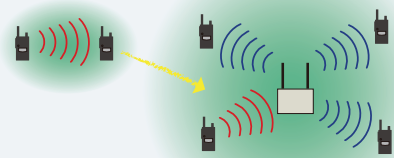
●設置する場所が高く、障害物がないほど広いエリアをカバーしますが、条件によりその広さは変わるので定量的には言えません。特に屋内設置の場合、「1階から4階まではカバーできます」のように具体的に確定することはできません。

●中継は、距離や面積を広げるほかに「通話できないエリアを解消する」役目があります。建物内部、大きなビルの陰など特定の場所で通話が不安定になるときに使うと通話品質が向上します。

●DJ-P111RとP112Rでは送受信専用のアンテナを持つP111Rのほうが若干カバーエリアは広がります。

●もし特小無線機を3台お持ちであれば、中継器を導入した時に広がる通話範囲の目安を調べることができます。

Aさんがカバーしたいエリアをなるべく全体に見渡せる場所に立ち、BさんとCさんがエリアの中をくまなく動き回ってAさんと通話できる範囲を調べます。Aさんも適時移動して、なるべくB、Cさんと通話できる場所を探します。このときB・C間では直接通話できないエリアが中継器をAの場所に設置することで広がる通話範囲の目安です。



DJ-P101R/111R/112Rにアクセスできる子機

- DJ-R100D(L/S) DJ-PA27
 - DJ-P21(B/S)
 - DJ-PX3(B/S)
 - DJ-RX3(受信専用)
 - DJ-P35D(アナログモード)
- リモートコントロールやトーンスルー機能は使えません。

付属品



- DJ-P101R/DJ-P30R 付属品**
- マスト取り付け金具
 - 防水ケーブル10m付き ACアダプター(EDC-112RZ)
 - 60mmφ以上のポールにはバインド材もお使いになれます。

- DJ-P111R 付属品**
- 壁掛け用ビスセット
 - ACアダプター(EDC-122B)
 - 電源延長ケーブル(約5m)
 - ゴム足 4個

- DJ-P112R 付属品**
- 壁掛け用ビスセット
 - ACアダプター(EDC-122B)
 - 電源延長ケーブル(約5m)
 - ゴム足 4個

共通の定格

チャンネル数	特定小電力無線27ch	受信方式	ダブルスーパーヘテロダイナ
電波型式	通話F3E(FM) / リモコンF1D(FSK)	受信感度(12dB SINAD)	-14dBμ以下
定格電圧	DJ-P101R: DC12V / DJ-P111R/112R: DC6V	送信出力	10mW
消費電力	通話時 約200mA	通信方法	半複信方式
外形寸法(W×H×D) 突起物除く	DJ-P101R: 216×140×95mm DJ-P111R: 200×135×50mm DJ-P112R: 140×90×44mm	重量(電池含む)	DJ-P101R: 約2.5Kg / DJ-P111R: 約0.8Kg / DJ-P112R: 約0.34Kg
接地方式	マイナス接地		

※注 本書内の全てのイラストは、分かりやすく説明するため距離感を圧縮して単純化しています。

ハンディサイズの中継器



- 乾電池対応
- AC電源対応
- DC電源対応



同時通話・連結中継

電話感覚で交信できる「同時通話」の通話距離が伸びます。DJ-R100Dを2台、接続ケーブルでつないで1組の中継器として使い、必要に応じてそれを複数セット設置します。オプションのレピーターケーブルADUA-78は長さ約80cmですが、接続ケーブルは簡単に自作できて、200m程度まで延長させることもできます。交互通話連結中継も可能です。

屋外・仮設

移動が多い作業現場やアウトドアのレジャーなどで、ブラインド・エリアができる場合にお勧めするのがDJ-R100Dを簡易中継器として仮設する方法です。直接雨風や直射日光にさらされない場所に、中継器モードに設定したDJ-R100Dを置くだけで手軽にカバーエリアを広げることができ、作業効率がアップします。

中継器 (レピーター) 交互通話・連結 / 同時通話 / 仮設